

医療・福祉・食品・健康

生活習慣病予防・改善のための食育支援とヒト介入試験による食品機能性成分の探究

研究
概要

科学的根拠に基づいた栄養教育方法と客観的評価の確立を目指す



食環境科学部 健康栄養学科

井上 広子 准教授 Hiroko Inoue

研究キーワード: 栄養教育 健康教育 栄養科学

URL: <http://researchmap.jp/60438190>

研究シーズの内容

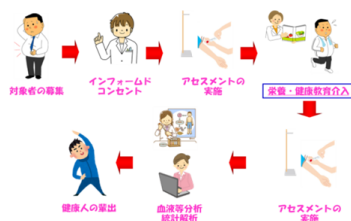
当研究室では、以下のテーマについて連携活動が出来ます。

1. 生活習慣病予防・改善のための食育支援

- ①食育プログラムの計画、実施、評価、修正を行う一連の食育マネジメントに関する指導・助言。
- ②個人・集団の食事調査やその結果に対する指導・助言。

2. メタボリックシンドロームを予防する食品・食事の開発

- ①メタボリックシンドロームの予防・改善を目的とした食品や食事の企画・開発とヒト介入試験の実施とその評価。
- ②メタボリックシンドロームをはじめとした疾病の一次予防を目的とした食品中の機能性成分やその食品に着目したヒト介入試験の実施と評価。
- ③新規食品・惣菜や菓子類の開発、機能性を有した食品開発についてのヒト介入試験の実施と評価。



介入試験の流れ

活用例・産業界へのアピールポイント

当研究室では、管理栄養士が行う生活習慣病の予防・改善のための食育支援を実施しています。また、疾病の一次予防を目的とした食品中の機能性成分やその食品に着目したヒト介入試験の実施と評価も行っています。栄養と健康に関する連携については、お声掛けください。

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

Hiroko Inoue, Ryosuke Sasaki, Izumi Aiso and Toshiko Kuwano. Short-term intake of a Japanese-style healthy lunch menu contributes to prevention and/or improvement in metabolic syndrome among middle-aged men: a non-randomized controlled trial. *Lipids Health Dis.* **13**:57, (2014).